



世界に希望を生み出そう

ガバナー月信

APRIL
2024

Rotary International District 2800 2023-2024

題字：野村百合子（山形北 RC）

国際ロータリー第 2800 地区 2023-2024 年度 | ガバナー 伊藤三之 | RI 会長 ゴードン R・マッキナリー

CONTENTS

ガバナーマンスリーメッセージ

ガバナーは語る

『研修からリビングへ』『ローターアクトの歌』『第4グループIM』

第5グループIM

第3回諮問委員会報告

次期チーム研修セミナー

鶴岡東高校インターアクトクラブ活動視察

ローターアクト新会員セミナー・歓迎会

東北多地区合同 青少年交換スプリングキャンプ

米山奨学生卒業を祝う会

青少年交換学生マンスリーレポート

ガバナー公式訪問

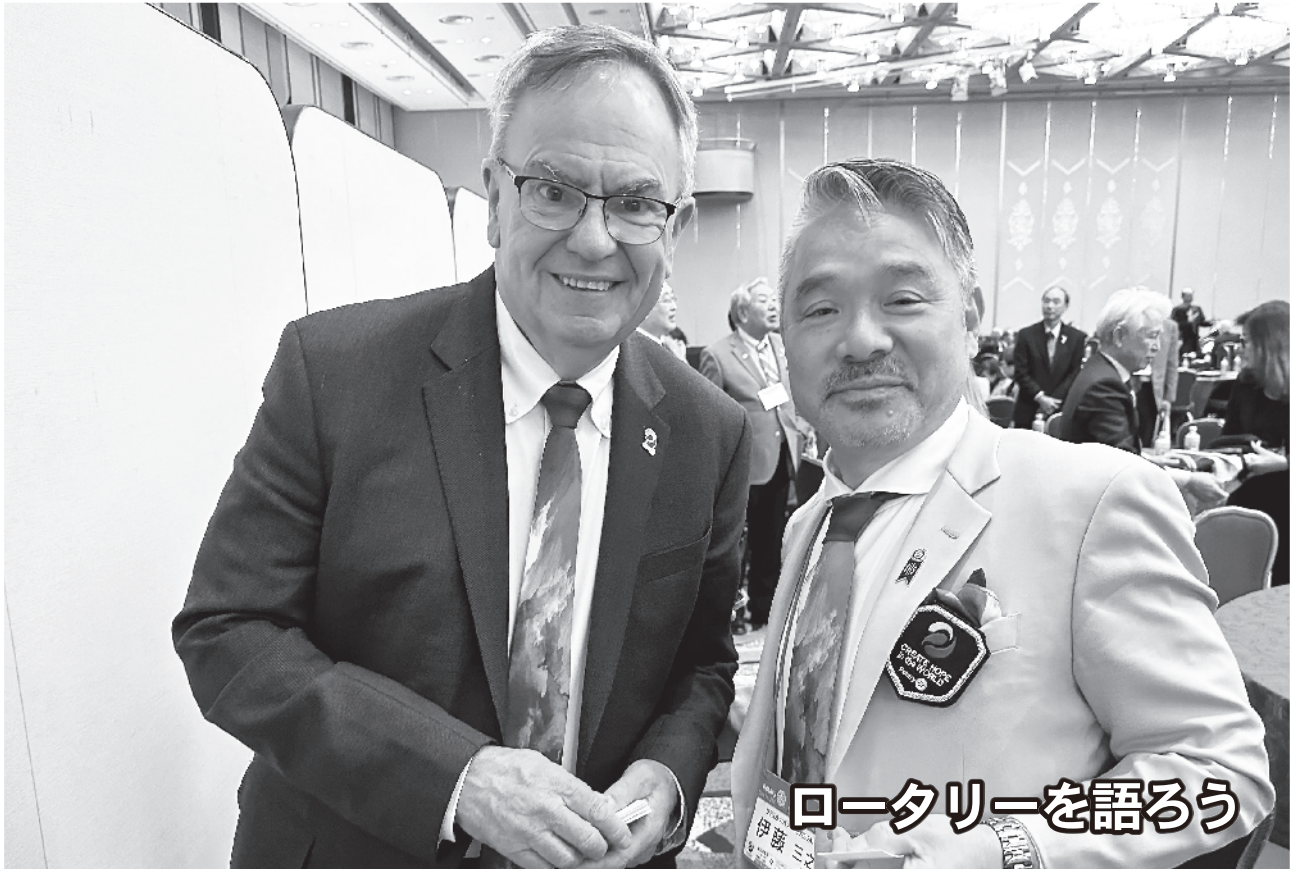
新会員紹介

米山寄付表彰・ロータリー財団寄付表彰



最上川の中流
「玉ノ井の眺め」
(山形県西村山郡朝日町)





ロータリーを語ろう

1 私のガバナー年度も残り3か月となりました！

昨年7月から始まった私のガバナー年度も残り3か月となりました。本音では、少し残っている他の地区の地区大会(4月6日～7日の京都、4月20日～21日の仙台、5月18日～19日の大分)や国際大会(5月25日～28日のシンガポール)をゆっくりと楽しみたいなあと思っているのですが。

5月11日(土)から12日(日)には、天童市市民文化会館と天童ホテルにて、「第27回国際ロータリー日本青少年交換研究会 山形会議」が開催されます。全国から交換学生(高校生を、およそ1年間相手国のロータリークラブと相互に交換するもので、ロータリーの活動に参加するなかで、親善大使として互いの国の理解を深める活動をしています)、ROTEX(青少年交換事業のOB・OG)、青少年交換に関係するロータリアン等数百名が集い、青少年交換に対する理解を深めるとともに、友情を育む機会となります。

そして、6月1日(土)から2日(日)にかけて、「気づき そして 感謝」をテーマに、寒河江市内(旧小学校校舎)にて開催される地区RYLA(ロータリー青少年リーダーシップ研修)が開催されます。コロナ禍で中断していた地区RYLAが4年ぶりに復活します。

青少年交換の全国大会も地区RYLAも、多くの方のご参加、ご協力を切にお願い申し上げます。

さらに、4月21日(日)には南陽RCの60周年記念式典、4月27日(土)には鶴岡南RCの30周年記念式典、6月1日(土)には第6グループのIM

開催と、まだまだ気が抜けません。

と言いますか、まだまだガバナーとしてロータリーを楽しませていただきます。年度最後まで、「世界に希望を生み出そう」とのマッキナリーRI会長の想いに専心する決意を示す意味で、昨年11月のロータリー研究会(神戸)の際のマッキナリーRI会長とのツーショット写真を掲載します(上記写真)。

2 東京の地区大会の裏話です！

3月号でも書きましたが、2月26日(月)から27日(火)まで東京南部地区(第2750地区)、28日(水)から29日(木)まで東京北部地区(第2580地区)の地区大会に参加してきました。

会場は、東京南部地区がグランドプリンスホテル新高輪、そして、東京北部地区はあの帝国ホテルです。登録料ですが、東京南部地区のRI会長代理歓迎晩餐会の登録料はロータリアンも同伴者も28,000円(当地区は各10,000円)、東京北部地区に至っては、RI会長代理歓迎晩餐会の登録料は、何と、ロータリアンも同伴者も40,000円。地区大会登録料もロータリアン30,000円、同伴者20,000円(当地区は各10,000円)。

これでも、東京地区の方々は、登録料を抑えるために工夫しているのだそうです。それは、土日はホテル利用料がもっと高いので平日にしているとのことなのです。そして、実は、土日はどの地区でもIMとか周年行事とか研修会とかの地区行事が目白押しなので、むしろ平日に設定した方が地区大会に参加しやすい、それも平日に連続して東京北部と南部



そして ローターリーを楽しもう

の地区大会を開催すれば、他地区から参加するR I 役員やガバナーも参加しやすいとの読みがあるようです。

この点は、確かにそのとおりです。当地区の地区大会は昨年11月11日(土)～12日(日)だったのですが、同じ日程で地区大会を開催したところが34地区中実に10地区もあったのです(最も集中した日)。これでは、他の地区大会に参加したいと思っているガバナーらも、なかなか参加しにくいわけです。今後は、地区大会の日程については、このような観点からも考えてみる必要がありそうです。

というわけで、東京北部と南部の地区大会には、34名のガバナーのうち、半数以上が集結し、互いに悩みを打ち明け、愚痴を言い合いながらも大いに盛り上がりました。上記写真は、ローターアクト全国研修会山形大会にもおいでいただいた水野R I理事エレクトを囲んでの東京北部地区大会時のスナップ写真です。

3 スキー部が設立されました！

1月28日(日)から29日(月)までの一泊二日で、蔵王ライザワールドスキー場での多地区合同青少年交換ウィンターキャンプに参加してきたことは3月号でも書きました。

私は、せっかくこのキャンプに参加するのに、単に挨拶をするだけではもったいないと思っていたところ、青少年奉仕委員会の遠藤委員長や次年度委員長の大滝委員、青少年交換委員会の佐藤委員長からそそのかされ、10年以上ぶりにスキーをすること

にしました。年末にスキーセット一式を買いそろえ、年末年始に数回蔵王でスキーの練習をして、青少年のウィンターキャンプに乗り込んだのです。

何を隠そう、私は、小学校4年から高校3年までアルペンスキーをやっていたのです。尾花沢市鶴子出身ですから、小さい頃からスキーはほぼ生活の道具でした。某高校でもスキー部に所属していたのですが、某高校のスキー部員はリフトに乗っているときは英単語帳を見たり、急斜面に入る前には怖くなってスピードをコントロールするほどですから、私のスキーの腕前もたかが知れています。

嬉しいことに、私の所属する山形北RCの何人かのメンバーから、「ガバナー、せっかくだから山形北RCスキー部を設立しましょう！」との声があがりました。そして、当クラブに、スキーインストラクターの資格を持っている舟越さんを部長にしてスキー部が設立されたのです。メンバーは現在11名です。私を含めて、数名のスキー部出身者、そして、スキーが生活の道具だった数名の郡部出身者がいます。何回か蔵王で練習会をしました。朝9時から11時過ぎまで滑って、蔵王でジンギスカンを食べて帰ってくるという真剣な部活動を繰り返しています。2月下旬には一泊二日の蔵王合宿もしました。蔵王スキー場に通り詰めている山形RCの榎森さんとたまたまスキー場でお会いしたら、360度カメラで撮影してもらい私のYouTube動画も編集してもらいました。

今後は、他のクラブのスキー愛好者の方々とも積極的に交流していきたいと思っております。



ガバナーは語る

研修からラーニングへ

今年度から、国際ロータリー(R I)がロータリーにおける学びの手法を「研修(トレーニング)モデルからラーニングモデル」へと方針を変更しました。これが示唆する今後のロータリーの流れとはどのようなもののでしょうか。

単に呼び方が変わったということではありません。研修(トレーニング)は訓練をすることであり、上下関係を意識させます。これに対して、ラーニングというのは結果を求める学びという意味であり、平行関係を意識させます。同様の発想から、従来トレーナーやリーダーといった立場の方はファシリテーターと呼ばれることになりました。ファシリテート(facilitate)とは、「易しくすること」という意味であり、要するに、みんなに分かりやすく手助けを、ということです。

そこで、従来「研修リーダー」と呼ばれていた役職は「ラーニングファシリテーター」に、「研修委員会」は「ラーニング委員会」に変更されることとなります。ただ、この点は、ここ数年で言葉使い、呼び方が徐々に統一されるという感じです。現に、芳賀年度では、佐藤孝子直前ガバナーが「地区ラーニングファシリテーター」という役職名になりましたが、委員会名は「地区研修(実行)委員会」のままですし、ファシリテーターの補佐役も「研修サブリーダー」と呼ばれています。

繰り返します。重要なことは、単に呼び方が変わったということではありません。どのような発想から学びの手法が変更されたかを考えてみることです。その会合に参加する一人ひとりが、一方的な押しつけではなく、自発的に学ぶ、主催者はその参加者一人ひとりの学びを上手く誘導する、手助けをする、ということであって、これって、「D E I」の「I(インクルージョン)」、包摂性、ここちよく導き入れる、招くということ、そして、マッキナリー会長が強調する「相手方のメンタルヘルスへの配慮」であり、私が地区基本方針で述べている「ストレスのないロータリー」と同じ発想なのです。

「ラーニング」、また新しい言葉が出てきたのか、などと言っている方、とんでもありません。多くのロータリアンが、ロータリーの標語の中で最も好きだと公言する「入り学び、出でて奉仕せよ」という標語の原文は「Enter to learn, Go forth to serve」であり、その「l e a r n」がラーニングなのです。



ガバナーは語る

ローターアクトの歌

皆さんは「ローターアクトの歌」はご存じでしょうか？私たちロータリアンが例会などで「奉仕の理想」や「それでこそロータリー」などのロータリーソングを歌うように、ローターアクトは、ローターアクトの会合などの際に、「ローターアクトの歌」を歌います。

「ローターアクトの歌」の歌詞は、以下のとおりです。

世界は広し 我らは若し 命の限り 誇りに生きん 熱き血潮を 誠と愛に 注ぎ尽くして 悔いあるべきや
ローターアクト ローターアクト 我ら若人 ローターアクト ローターアクト 若さ燃ゆるよ

若人のエネルギーと崇高な志を感じさせる歌です。この歌を作詞作曲したのは、第一生命保険の創業者一族で、同社の社長や会長を務められた矢野一郎氏です。矢野氏は、東京RC会員で、生命保険協会会長やNHK経営委員会委員長も歴任した他、多趣味で知られ、剣道の達人でもありました。多忙を極めていましたが、飛行機に乗っている間は趣味で作詞や作曲をしていたそうで、我々におなじみの「手に手つないで」(1951年)や「それでこそロータリー」(1953年)も矢野氏の作品です。

「ローターアクトの歌」は1969年、世界でそして日本でローターアクトが誕生した翌年に作られました。矢野氏は、1995年に96歳でお亡くなりになりました。ロータリアンそしてローターアクトの心の拠り所を築いてくださった方です。



ガバナーは語る

第4グループIM

2024年3月2日(土)午後2時から午後5時まで、寒河江のホテルサンチェリーにて、第4グループのIM(インターシティ・ミーティング)が開催されました。

IMテーマは、「我が職業を語る」というロータリー哲学の核心を突くもの、いわば直球ど真ん中。2部構成になっており、第1部は加茂水族館の奥泉館長の基調講演、そして、第2部は第4グループの5クラブ(寒河江RC、寒河江さくらんぼRC、大江RC、河北RC、西川月山RC)の入会3年未満の会員5名による5分間スピーチ。

奥泉館長のご講演では、「加茂水族館クラゲ展示の軌跡」という演題で、入館者が下降の一途で倒産寸前だった田舎の古びた水族館を、クラゲを主役に据えるという一点に特化した仕掛けで、世界一の名声を得るまでになった加茂水族館の物語を、ユーモアを交え、味のある語り口でお聞かせいただきました。

「自分が楽しめるからこそ、お客様も楽しめる」、「クラゲ飼育用に自分で開発した水槽を、特許も取らずフリーで開放したからこそ、他の水族館からもいろんな情報をもらえたり協力もしてもらえた」など、職業における「奉仕」の意味について、深く考えさせられる内容でした。

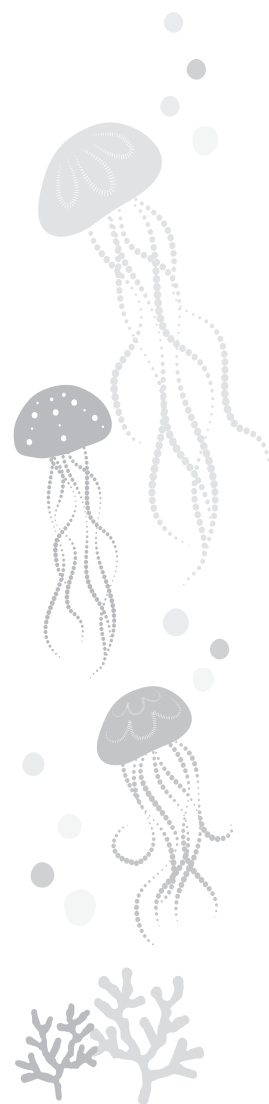
また、「エネルギーを分散させず、一つのことに特化すれば突き抜ける」など、経営のヒントもたくさん散りばめられたお話しでした。

何よりも、「楽しいことは長く続けられるし、頑張れる」というご講演の最後のフレーズは、「ロータリーを語ろう そして ロータリーを楽しもう」という私の地区基本方針とリンクするもので、私は大きくなずいたのでした。

第2部では、各クラブ代表の若手の方々から、「笑顔で酒を仕込めば、お客様も笑顔になる酒を届けることができます」、「僕がロータリーの例会を急に休んだときには、泥だらけで水道管復旧の緊急作業をしていると思ってください」、「納期を含めたお客様との約束を守ることが商売をするうえで最も大切なことです」などなど、職業における「奉仕」の意味とは何かを考えるヒントになる有意義なお話しを聞かせていただきました。

懇親会では、奥泉館長と私は趣味のウィスキーの話で盛り上がり、最後は、奥泉館長と佐藤洋樹寒河江市長と「手に手つないで」、楽しい時間を共有させていただきました。

奥山ガバナー補佐を始め、第4グループの皆様、ありがとうございました。



第5グループIM

IM実行幹事
安孫子 俊彦 (山形東RC)

地区統括副幹事(事務局長)
須藤 雅人 (山形北RC)

2024年2月17日午後2時30分から、パレスグランデールにて、第5グループのIM(インターシティ・ミーティング)が開催されました。

昨今はDX時代に突入したと言われていますが、特に昨年は生成AIが注目されました。AIには様々な活用への期待が高まる一方、私たちの仕事、生活、社会にどのような影響を及ぼすのか不安も大きいところです。そこで、AIとどう向き合い、AIと共存していくにはどうすればよいかを学ぶために、今回のIMのテーマを「DX時代を生きる」にし、日本経済新聞社でコメンテーターを務められている村山恵一氏(山形市出身)に「膨張するAIの光と影 テクノロジーを社会にどう生かすか」という演題でご講演いただきました。

村山氏によると、今、私たちは時代の大きな転換点にいる、そして、今、私たちに求められているのは、どのような会社を目指すのか、どのような働き方をすれば個々人の能力を生かせるのかという明確なビジョンを持つことであり、それを実現していく有力なツールとして、AIをはじめとするテクノロジーを生かしていくのが重要であるとのことでした。

村山氏の講演終了後は、恒例の懇親会が開かれ、第5グループのロータリアン相互の親睦をはかっていたき、最後は「手に手つないで」で散会となりました。



第3回諮問委員会報告

2月23日(金)10時30分より、割烹志ん月(白鷹町)に於いて、伊藤三之ガバナー年度の第3回諮問委員会が開催されました。

伊藤ガバナーを始め、佐藤直前ガバナー、9名のパストガバナー、芳賀ガバナーエレクト、小松ガバナーノミニ、そして地区関係者9名の併せて22名の出席者で行われました。

【諮問事項】

- 諮-1 第2回諮問委員会議事録について
- 諮-2 地区資金中間報告について
- 諮-3 2024-25年度RIテーマ・国際協議会報告方針(案)、地区資金予算(案)、組織図(案)について
- 諮-4 2024-25年度ガバナーエレクト地区資金予算(案)について
- 諮-5 ガバナーノミニ・デジグネートについて
- 諮-6 2024-25年度全国RYLA連絡会への加入・運営委員推薦について
- 諮-7 2024-26任期 RIJYEM社員任命について
- 諮-8 地区ホームページについて
- 諮-9 その他

以上の諮問事項について、諮問委員の皆様より質問やご意見を頂き、すべての諮問事項について了承されました。

【報告事項】

- 報-1 能登半島地震支援について
- 報-2 2024年1月末会員数について

以上、報告事項について説明がありました。

続いて、ガバナーエレクト報告事項の説明と確認がなされ、本年度第3回目の諮問委員会は閉会となりました。



第2回地区チーム研修セミナー

次期地区統括副幹事(事務局長)
今間 邦雄(白鷹RC)

2月23日(金)、パレス風松(白鷹町)に於いて次期地区ガバナー補佐、委員長、委員の研修セミナーを行いました。伊藤ガバナーはじめ佐藤次期地区ラーニングファシリテーター、次期地区サブリーダーの鈴木PG、上林PG、大久保PG、次期社会奉仕委員長の齋藤PG、次期米山奨学・米山学友アドバイザー矢口PG、小松ノミニ、そして、各ガバナー補佐、各地区委員長、委員の皆様にお集まりいただき、芳賀ガバナーエレクトの国際協議会報告、ステファニー A.アーチックRI会長エレクトの2024-25年度RIテーマ講演『ロータリーのマジック』の映像が15分程度ありました。

その後、芳賀ガバナーエレクトの2024-25年度テーマ『ロータリーにもっと誇りを そして学びDEIの心を持って行動実践しよう』の説明と、地区基本理念と地区重点項目について説明がありました。

その後、分科会に別れて活動方針についての活発な議論がなされました。最後に、佐藤次期地区ラーニングファシリテーターより総括を頂き第2回地区チーム研修セミナーは終了しました。



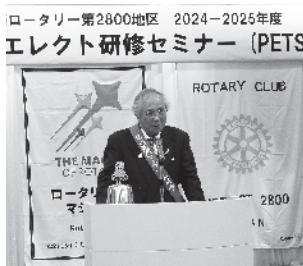
会長エレクト研修セミナー (PETS)

次期地区統括副幹事(事務局長)
今間 邦雄(白鷹RC)

3月9日(土)、パレス風松(白鷹町)に於いて会長エレクト研修セミナーが開催されました。芳賀ガバナーエレクトの開会点鐘で開会し、伊藤ガバナーからのご挨拶、芳賀ガバナーエレクトよりご挨拶とパストガバナー、ガバナー補佐、各委員長など地区関係者の紹介があった後、佐藤次期地区ラーニングファシリテーターよりPETSの目的についての講話を頂き、大久保次期地区研修サブリーダーよりご挨拶をいただきました。

続いて、青木次期地区資金委員長より決議事項(案)・申し合わせ事項(案)・次期地区予算(案)・次期地区大会予算(案)についての説明があり、次期ガバナーエレクト地区資金予算(案)については、小松年度地区資金委員長の代理として沖津次期事務局長より説明がありました。次期地区各委員会委員長からは、各委員会についての「事業の意義と達成に向けて」ご説明して頂き、その後の分科会では、各クラブ担当のガバナー補佐と会長エレクトで次年度に向け様々な項目についての検討会があり、報告会では実りある報告がなされました。

総括を佐藤次期地区ラーニングファシリテーターより頂き、その後懇親会に入り伊藤ガバナーの挨拶、芳賀ガバナーエレクトのプロ並みのハーモニカ祝奏で盛り上がりました。酒井パストガバナーの乾杯のご発声を皮切りに祝宴に入り、ご出席の皆様方の熱気が会場を盛り上げ、最後は会場で丸い円を作り「手に手つないで」の大合唱で終わりました。



鶴岡東高校インターアクトクラブ 活動視察報告

地区委員会 | インターアクト委員会 委員 佐藤 一嘉 (鶴岡西RC)

3月8日(金)、鶴岡東高校インターアクトクラブ(齋藤哲校長、林正子顧問、部員16名)の活動視察会(例会訪問)が実施されました。

伊藤三之ガバナー、佐藤孝子直前ガバナー、高野邦夫第2グループガバナー補佐、枝松祐子インターアクト委員長、スポンサークラブ鶴岡RCの皆さんはじめ、鶴岡ローターアクトの板垣沙織地区ローターアクト代表など、多くのロータリアンに参加いただきました。

15時45分 高宮あづ葉部長による開会点鐘に始まり、国歌及びインターアクトの歌を全員で斉唱し、続いてIAの目的目標を読み上げました。

その後、伊藤ガバナーの講話があり、ロータリーの発祥、ロータリーとは何かと、奉仕は他人のためにするが結局自分に帰って来る、自分が楽しいかが究極、活動の神髄かと思う、と相変わらずの熱のこもった話で締めた。

続いて、IA活動報告があり、その内容の濃さと、活動の幅の広さに我々ロータリアン全員が感動させられた。

また東日本大震災と能登半島地震で亡くなった人たちにキャンドルを灯し、書道部が書いた「祈」と白い折り鶴を飾り、IA・RCメンバー全員で黙とうを捧げた。

同時に戦争など世界の紛争がなくなり平和が訪れることを願った。

最後に会場を移し、学校長との懇談会を行い、この会を締めくくった。大変中身の濃い1時間の会でありました。



生徒の感想 (一部抜粋)

- ・伊藤ガバナーのお話を伺って、私自身の中で様々な気づきがありました。まず、私たち人間は一人では生きられないということです。最初は意外に思いましたが、お話を聞いて納得がいききました。普段身につけている服やカバン等の商品を手にするまでにどれほど多くの人関わっているのかを意識することで、私たちは決して一人で生きているのではなくみんなで生きているということが認識できました。そして、私たちがしている奉仕活動はそのことに対する感謝の表れともいえるのではないかと思います。「3.11いのちの灯活動」では、ロータリーの皆様と一緒に犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、今こうして生きていられることが当たり前ではないと改めて気づかされました。たくさんを感じそして学んだ今日の活動を糧に今後もインターアクトクラブの一員として活動していきたいと思えます。
- ・活動視察で、ご挨拶いただいた伊藤三之ガバナーの言葉「人のため、誰かを助けるためにしている私たちの奉仕活動は、私たち自身の人生を豊かにするためにもなっている」が、とても心に響きました。誰にも気づいてもらえなくても周りの人にわかってもらえなくても行動していくことの大切さを学びました。これからも見返りを求めない生き方を日々実践していこうと思えます。
- ・伊藤ガバナーから国際ロータリーができた理由や活動の意義など色々なことをお話いただき、学びを深めることができました。また、3.11東日本大震災、世界で起きている紛争や地震、能登半島地震で犠牲になられた方々に全員で黙とうを捧げたことは、今回ガバナーから学んだこと、奉仕活動を行う意義等、今私にできることを改めて考えるきっかけとなりました。

ローターアクト新会員セミナー・歓迎会

ローターアクト委員会
委員長 和田 義弘(河北R C)

3月10日(日)、寒河江チェリーパークホテルにてローターアクト新会員セミナー・歓迎会が開催されました。全国ローターアクト研修会山形大会を踏まえ、今年に入りローターアクト会員増強の強化を各グループで行ってありまして、現在、酒田RACに2名、西村山RACに5名、山形RACに6名が新会員として入会していただきました。

伊藤ガバナーをはじめ、鈴木一作PG、地区青少年奉仕委員会委員、ローターアクター合わせ22名でローターアクトセミナーが始まりましたが、会場に入った新会員はほぼ初対面の私たちにとっても緊張しており、硬い表情でした。

伊藤ガバナーからは「国際ロータリー2800地区及びロータリーについて」、私から「ローターアクトについて」、板垣地区RA代表から「地区ローターアクト活動について」お話ししました。

その後、全国RA研修会山形大会について三浦実行委員長から説明があり、全国のロータリアンとローターアクター総勢450名の大きな研修活動に参加してもらうとともに、6月1日と2日に開催される今年度のRYLAにも参加して欲しい旨の話がありました。遠藤伸一青少年奉仕委員長から、実際にRYLAに参加したローターアクターの成長と変化についての話しもありました。

1時間30分のセミナーでしたが、新会員は初めて聞くロータリーの言葉に少し戸惑いながらも理解できたようで、だんだんと緊張がほぐれていき、続いての懇親会で乾杯すると一気に和やかな表情に変わり、ロータリアン、ローターアクターともすぐに打ち解け、時間が進むにつれ話しがはずみ、終わる頃には既に仲間になって連絡先やLINEを交換して、皆早く一緒に活動したいと喜んでおりました。やっぱり、ロータリーは親睦ですね。

ほんの数時間で若者がこんなに変わるものだ改めて実感し、ロータリーの青少年奉仕活動は楽しいものだと感じました。新しい仲間が増えた2800地区のローターアクトは、より良く全国研修会を迎えることができるでしょう。RYLAが終わった頃には、我が地区のローターアクトは大きな視野を広げられる可能性を秘めた若者たちの集まりとなることでしょう。

より多くの若者と一緒にこの経験をするべく、ロータリアン及びローターアクターの皆様でローターアクト活動をさらに広げて行きましょう！





東北多地区合同 青少年交換スプリングキャンプ

青少年交換委員会 委員長 佐藤 聡 (鶴岡南RC)

2024年3月16日(土)から18日(月)まで、2泊3日の日程で湯野浜温泉・華夕美日本海を会場に、2800地区をホストとして青少年交換スプリングキャンプを開催しました。都合により参加できなかった2830地区(青森県)を除く東北各地区より、派遣学生(OBS)6名、来日学生(IBS)10名、青少年交換学友(ROTEX)10名、ロータリアン等関係者23名、計49名が参加しました。スプリングキャンプの目的は、OBSが充実した交換生活をスタートできるよう万全の準備を行うとともに、学生同士の交流を深め、多くの友人を得る機会とすることです。

研修では、伊藤三之ガバナーより「ロータリーと青少年交換」について、小松栄一ガバナーノミニー・RIJYEM研修委員より「派遣国での危機管理と衛生管理」について講演をしていただきました。2800地区青少年交換委員の皆さんからは「よき親善大使となるために～ホストクラブ・ホストファミリー体験談～」と題して、学生を受け入れてきた立場の視点でOBSへアドバイスをいただきました。

「留学生活から得た必要知識と対応」のセッションでは、ROTEXとIBSが派遣国の生活を再現。ホストファミリーとの対面、学校生活、体調不良時、違法行為への勧誘を受けた場合など様々な場面をOBSに疑似体験させて、どう対応すべきかをグループでディスカッションしました。

メインプログラムは最終日の「IBSの日本語スピーチ」と「OBSの英語による決意表明」。IBSは日本青少年交換研究会山形会議(5月天童市開催)の「IBS日本語スピーチコンテスト」出場を、OBSは派遣先でのコミュニケーションスキル上達をそれぞれ目標に、ROTEXの厳しい指導を受けながら夜通し練習をしました。来日7か月となるIBSは日本語レベルも格段に向上し、日本での体験を表情豊かに表現していました。OBSは緊張で表情が硬い学生もいましたが全員原稿を見ないで3分間の発表を成し遂げました。

締めくくりとして、ROTEX、ロータリアン全員から激励と労いの言葉を、最後に伊藤ガバナーから講評をいただき、3日間のプログラムを終えました。クラゲ展示で有名な加茂水族館を訪れたり、善寶寺で辰年ご縁年特別企画「歌舞伎奉納公演」を鑑賞したり、鶴岡ならではの体験メニューをプログラムに盛り込むこともでき、内容の濃い充実したスプリングキャンプとなりました。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。





ガバナーは語る

青少年交換スプリングキャンプのガバナー講評

以下は、3月16日(土)から18日(月)まで開催された東北多地区
合同青少年交換スプリングキャンプの最終日のガバナー講評の要旨

一昨日のインバウンド及び交換候補学生の自己紹介は、はっきり言って余り出来が良くなかった。自分の趣味は歌うこと、絵を描くこと、ゲームをすること、日本の食べ物の何が好きで何が嫌いか、日本人は優しいとか、景色がきれいだとか、抽象的な言葉を羅列されても心に響かない。今日のインバウンドのスピーチと交換候補学生の決意表明はだいぶ良くなったが、もっともっと、自分が体験した具体的エピソードを深掘りして、その視点から両国の文化の比較や生活様式の違いなどについて自分の感想や意見を述べたり、夢を語って欲しい。

青少年奉仕アドバイザーである矢口PGは、「ロータリーとの縁を大切に」とおっしゃったが、その意味は、英語で言えば、ロータリーとの「Chance、Connection、Relationship」、そして、「Destiny」を大切にしたいということであろう。

ロータリーは、青少年交換以外にも米山奨学制度、財団奨学制度、グローバル補助金奨学制度、平和フェローシップなど多様なプログラムを用意している。「平和は人から始まる」というロータリーの想いを汲んで、平和の担い手である親善大使であることの誇りを持って頑張りたい。

米山奨学生卒業を祝う会

米山奨学・米山学友委員会
委員長 芦野 茂(山形西RC)

「米山奨学生卒業を祝う会」を3月15日山形市内にて開催いたしました。この会は伊藤ガバナーの提案により奨学生が最後の山形を楽しんでいただくことを目的に企画いたしました。

また、米山記念奨学会理事大久保PGからも米山学友会参加を呼びかけて頂き山形学友会活動内容を教えていただくセミナーも同時に開催いたしました。

セミナーの後は懇親会を行いカジュアルな雰囲気の中で奨学生たちの新たな一面を垣間見ることができました。別れを惜しむ気持ちと共に山形での最後の夜を存分に楽しんだ様子が伺えました。



青少年交換学生マンスリーレポート



2024.2.24 報告

深瀬 裕正さん
(東桜学館高等学校)

派遣地区：D 4 1 4 0

派遣国：メキシコ

スポンサーRC：東根RC



こんにちは、ひろまさです。メキシコにきて7ヶ月が経ったことに驚きを感じながらも毎日充実した日々を過ごしています。日本ではインフルエンザが流行ってくる時期でしょうか？皆さんお体に気を付けてお過ごしください。

今月は、ロータリーの活動や旅行はありませんでしたが、来月にはとても大きな旅行がありカンクンというメキシコだけでなく世界的に有名なビーチに旅行に行く予定です。また、そこにはマヤ文明が残したたくさんのピラミッドや遺跡があります、調べていて気になったのは、コストコの駐車場の地下に天然のプールのようなものがあるとのこと、そこに行くのもとても楽しみです。

また、2月23日に天皇誕生日で祝日があったと思います。普段僕が日本で過ごしているときは、あまり気にしてなかったのですが、その祝日の日はメキシコでもみんなが知っていて、新聞にも載っていたことに本当に驚きました。

学校のことについて話そうと思います。今月は、たくさんテストがありました。メキシコの学校のテストは日本と比べるとあまり難しくありませんが、勉強して無事に合格できたのでよかったです。

また、先月新しいホストファミリーになりました。彼らはとてもステキで、一緒にいてとても楽しいです。ホストファミリーだけでなくその従妹など、メキシコの家族はとても多いのでたくさんの交流ができていいとは思いますが、時にはそれで疲れるような気がします。

最近では、スペイン語もだいぶ話せるようになってきましたが、まだまだ文法や単語の勉強は必要だなと感じています。

今では、本当にメキシコが大好きで、正直日本には帰

りたくないです。そのくらい、メキシコに住んでいる人の人情がとても素敵です。

一生忘れないような経験と思い出をつくるきっかけを作ってくれたロータリーに感謝したいです。

後半のメキシコでの生活も楽しみたいです。



2024.2.27 報告

菅原 倭夏さん
(羽黒高等学校)

派遣地区：D 3 4 9 0

派遣国：台湾

スポンサーRC：鶴岡RC



こんにちは。帰国まであと残り約4ヶ月になりました。2月の台湾は寒い日もあれば半袖ですごせるくらい暑い日もあって服装調整が難しくなってきました。

10日には台湾では旧正月、春節がありました。2月9日は大晦日で2月10日はお正月です。これは日本では新暦を採用していますが、台湾では旧暦を採用しているからです。台湾の人々のお正月の過ごし方はあまり日本と変わりはありません。親戚が集まってお正月料理を食べたり、お祈りをしたり、親戚や家族から紅包（ホンパオ）と言って、お年玉を貰ったりします。

日本と台湾で少し違うところは、料理の品数とお祈りをする場所です。

日本ではお雑煮だったり、年越しそば、おせちのような料理を食べますが、台湾では料理の品数がとても多い事にびっくりしました。台湾の正月料理も日本のおせちのように、一品一品に意味が込められた料理を食べます。そして日本では神社やお寺に初詣に行きますが、台湾では自宅で行います。祭壇の周りにお菓子や果物を供えながら黄色の封筒を燃やします。そしてお年玉の封筒の色も違いがありました。日本ではのし袋やキャラクターの書いてあるようなポチ袋にお年玉をいれますが、台湾では赤色の封筒にいれます。台湾では「赤」はおめでたい色とされていて福の象徴なので赤い色の封筒にお年玉が入っています。

それとみなさんご存知の爆竹ですが、これは町のあちこちでバンバンなります。「何事だ!!」とびっくりしました(笑)

爆竹は災いを払う役割があり、爆竹の音が聞こえると、なにか新年の賑やかな雰囲気も感じられ、日本では体験できない風習の一つを肌で感じる事ができました。

そして2月24日には3490地区の留学生のみんなで宜蘭県内のお寺のお祭りに参加しました。そこには他の地区の留学生も参加していてダンスを披露しました。台湾の伝統舞踊を見たり、日本の和太鼓の演奏もありました。そして日本で言うお神輿を運びました。また屋台もあり、ゲームを提供している屋台もあったのでまるで日本のお祭りのようでした。

私の中国語のレベルとしては語彙が本当に増えたのを実感しています。24日の夜に最上町からロータリークラブの方々がいらっしやっていたので、一緒に食事をする機会がありました。その時に台湾ロータリークラブの方から通訳を頼まれたのでがんばって通訳をしましたが、なんとか全てを通訳することができました。その時の達成感や嬉しさは忘れられません。

帰国まで残り約4ヶ月なので中国語の向上も止めずに1日1日を大切にしていきたいです。

友達から「日本が大好きな人を集めて日本食を皆で作るからあなたも来なよ」と誘われたので友達の家へ日本食を作りに行きました。そこには12人ほどの人がいて、みんな日本について語っていました。私たちは鍋と餃子、寿司と唐揚げを作り、私は寿司と唐揚げを作る担当をしました。私の友達は唐揚げが大好きで、ここへ来て4回は唐揚げを作ったことがありましたが、今回は大勢の人が集まったため40個ほどの唐揚げを作りました。私の住んでいる町はとても小さな町ですが、そこにこれほど日本を愛してくれる人がいると思うととても嬉しかったです。私は、今のホストファミリーでは夜ご飯を自分で作らなければならないので、最近は自炊することに少し夢になっています。大学生で一人暮らしをする良い練習にもなるし、日本食が恋しくなった時に自分で作れるのでとてもいい経験になりそうです。

2月21日から25日にロータリーのカナダ旅行がありました。アメリカとカナダにいる一部の留学生20人ほどが集まり、ここでは2人1組になってカナダのロータリーメンバーの家でホームステイをしました。私たちは一日目にカナダのロータリーミーティングに参加し、それぞれの出身国の旗とプレーザーを着て自己紹介をしました。そして二日目はカナダの伝統的なダンスを観覧し、カナダの学校のインターナショナルクラブを訪れて、それぞれの国のことについて交流しました。そしてラジオ配信の見学と体験をした後、アイススケートを行いました。三日目はクライミングとハイキングを行い、カナダの自然に触れあいました。そして夜は、カナダのホストファミリーと交流する時間で私は習字を彼らに披露しました。日本語の名前を書いてプレゼントし、実際に彼らに書き方を教えて習字を体験してもらいました。四日目は朝にヨガを行いました。ヨガの講師が日本人の方でした。カナダでは多くのアジア人を見かけ、カナダの学校に通っている留学生は「私の学校には日本人は20人ほどいるよ」と言っていました。私はカナダが留学の第一希望でしたが、アメリカの方がより英語に集中することができそうでよかったです。そしてヨガを終えたあと、ロータリーのボランティアとしてロータリーが行っている活動を街にいる人に宣伝しました。英語で声をかけてロータリーが行っている活動を宣伝するのは私にとってはとてもハードでしたが、他の留学生と協力して10人ほどに宣伝することができました。始める前はまともに話を聞いてくれる人は少ないだろうと思っていましたが、声をかけたほとんどの人が真剣に話を聞いてくれたので私が訪れている地域の環境の良さに気づきました。ボランティア活動を終えた後はカーリングを行いました。私はプレーをするのは初めてでしたがオリンピックを観戦していたのでルールとプレーをするイメージはついていました。そのおかげでチームのエース的存在で試合に勝つことができました。この旅で一番楽しかった思い出は圧倒的にカーリングだったと思うほどとても楽しいスポーツでした。日本でもできる機会があったらぜひまた試してみたいです。最終日の夜はみんなでカラオケを歌いました。沢山の国の音楽が聞けてとても楽しいひと時を過ごせました。ロータリーの旅行も残すところあと一つとなってしまいました。留学がもう少しで終わってしまうと感じるととても寂しい気持ちになります。

残り期間を無駄にせず大切に過ごしていきたいと思えます。

2024.2.29 報告

国井 梓さん
(日大山形高等学校)

派遣地区：D5020

派遣国：アメリカ合衆国・カナダ

スポンサーRC：寒河江RC



こちらは天気の良い日が続き、春の訪れを感じたと思いきや、急激な寒さと雪が再び現れました。

アメリカではフットボールがとても人気でsuper bowl という大きなゲームが数回あります。多くの人々がパーティーを開いて、大勢の人でそのゲームを観戦します。私はフットボールに興味はありませんでしたが、

〈 ガバナー公式訪問 〉

山形イブニングロータリークラブ

会長/高橋 豊 幹事/古澤 利治 例会場/パレスグランデール

2024年2月19日(月)



第5グループIMの感動冷めやらない2日後の2月19日、伊藤三之ガバナー、吉田義尚ガバナー補佐、小野和行地区幹事、櫻井靖地区副幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会に先立つ会長幹事会では、少数会員クラブであるがゆえの悩みや、クラブ運営の方策等ご相談させていただき、クラブ運営の心得や今後の活動方法について等のアドバイスをいただきました。伊藤ガバナーには当クラブで作成した年次計画書を予め隅々までご精読いただいております。定款・年次計画等についてご指摘いただきました。会長幹事会そして例会で年次計画書の内容が良く出来ているとお褒めの言葉をいただき、会員一同励まされた思いでした。続いての例会行事では、伊藤ガバナーからロータリーに対する想いや、今年度の地区重点事項を柱とする地区方針や今年度事業に対する想いを熱く語っていただきました。普段の例会以上の出席率の中、情熱あふれる卓話から、会員一同元気とパワーをいただきました。

例会終了後、地区役員を円卓で囲んだ懇親会が開催され、山形市内クラブ同士ということもあってお互いに顔見知りであり、和やかで明るい雰囲気の中、熱気のコもった懇親会となりました。次のステップに向けて、小さいながらも団結強化、更なる会員増強等に励む所存であります。伊藤ガバナーからは今後ともご指導宜しくお願いたします。

〈 ガバナー公式訪問 〉

山形東ロータリークラブ

会長/白田 真人 幹事/荻野 武好 例会場/ホテルメトロポリタン山形

2024年3月15日(金)



3月15日(金)、伊藤三之ガバナー、吉田義尚ガバナー補佐、小野和行地区幹事、太田かおり地区大会実行委員をお迎えし、ガバナー公式訪問例会が開催されました。

例会に先立ち開催された会長幹事会では、白田会長がクラブ方針「ロータリー活動を語り合い 歩みを緩めず、更に一歩前進しよう」を基に、クラブの現状、これまでの活動内容を説明しました。その中で、上期において2名が退会し在籍者が28名となり、会員増強が急務であるとの説明がありました。ガバナーからは、人数の少ないクラブも想定してのクラブ活性化のヒントとして、各クラブの得意分野の事業を継続し磨きをかけること、ガバナーから発信されるロータリーの情報(地区公式LINE、地区ホームページ、ガバナー月信等)をうまく活用すること、地区委員会をもっと活用すること(委員長に卓話依頼をする等)などのアドバイスをいただき、大いに励みになりました。また、クラブ定款は標準ロータリークラブ定款に則って、最新版(現時点では2022年改訂版)を掲載してほしいとのご指導をいただきました。

例会においては、RIテーマと地区基本方針、そしてガバナー月信(特に「ガバナーは語る」のコラム)の説明、またロータリーの基礎知識として「奉仕の理想」、「二つのモットー」、「ロータリーの目的」、「四つのテスト」の話があり、ロータリー活動は世の為人の為にするものの、結果的には自分の人生を豊かにするものであるとのご教示をいただき、自分たちが何のためにロータリー活動をするのかを自らに問いかける時間を持つことができました。

ガバナーの熱血溢れる想いをお話いただき誠にありがとうございました。



ガバナーは語る

地区RYLAが4年ぶりに復活します！

6月1日(土)から2日(日)の一泊二日の日程で、「気づき そして 感謝」をテーマに、寒河江市内(旧田代小学校校舎)にて、地区RYLA(ロータリー青少年リーダーシップ研修)が開催されます。

コロナ禍で中断していた地区RYLAが4年ぶりに復活します。

極めて有益な研修ですので、是非、自分の会社や事務所の有望な若手社員、従業員を参加させてください。

詳しくは、地区事務局から各クラブ宛てに別途案内させていただきます。

新会員紹介

村山ローズRC



原田 勲 (はらだ いさお)

職 業 / 原田商店 旬彩酒房 桜坂
役 職 / 副代表
職業分類 / 飲食業
生年月日 / 1982年11月6日
入 会 日 / 2024年3月1日

新会員をみんなで歓迎
しましょう！
新会員情報を地区事務局に
お寄せください！



ロータリー財団寄付表彰



東根RC
高橋 則好



東根RC
齋藤 賢一



東根RC
淀川 善浩



東根RC
石垣 隆弘

米山奨学事業と
ロータリー財団の意義を
再認識しましょう！
ロータリアンは
「与える文化」の
実践者です！



米山寄付表彰

第16回 米山功労者メジャードナー



鶴岡西RC
渡部 吉春

第9回 米山功労者マルチプル



山形北RC
菱沼 充好

第8回 米山功労者マルチプル



鶴岡西RC
石黒 慶一

第1回 米山功労者



鶴岡西RC
井上 彬

第1回 米山功労者



鶴岡西RC
今間 勝見

各種QRコード
よりログイン
ください。



MyRotary



地区
ホームページ



地区公式
Facebook



地区公式
LINE



ハイライトよねやま
vol. 288



世界に希望を生み出そう



4月の地区スケジュール

Schedule of April 2024

■ 環境月間

1	月	
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	米山奨学オリエンテーション カウンセラー説明会
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	地区研修・協議会 (GE)
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	ガバナー会議④ クラブ活性化セミナー (東京)
19	金	
20	土	
21	日	南陽 RC60 周年記念式典
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	青少年交換委員会・オリエンテーション⑥ 鶴岡南 RC30 周年記念式典
28	日	
29	月	(昭和の日)
30	火	